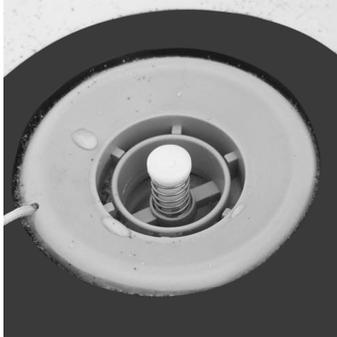


空気の入れ方

- ①付属のハンドポンプに圧力計、ホースを接続します。
 - ②ボードのバルブの蓋を開き、ハンドポンプのノズルを挿して適正圧力になるまで空気を入れます。
 - ③空気が入ったらバルブの蓋を閉めてください。
- ※適正圧力：10~15psi

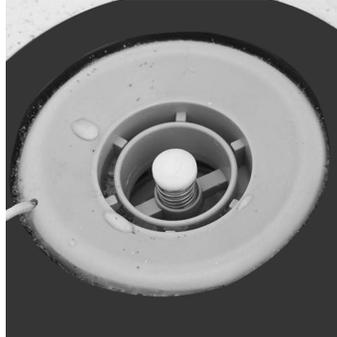
バルブの操作方法

空気を入れる時



バルブの中央を押して、バルブ中央がバルブから少し出た状態にします。

空気を抜く時



バルブの中央を押して、バルブ中央がバルブの中に引っ込んだ状態にします。

使用前の点検

使用にあたっては毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

- ◇本体に傷や破れがないか
- ◇空気漏れはないか
- ◇バルブは機能するか

使用上の注意

- ◇空気圧は 12~15psi でご使用ください。
- ◇気温が 3 0℃ 以上の場合は空気圧 12~13psi でご使用ください。
- ◇空気が漏れている状態で使用しないでください。
- ◇必ずライフジャケットを着用してください。
- ◇岩などがあるところではヘルメットやウォーターシューズなど必ず着用しましょう。
- ◇水深の浅いところでは使用しないでください。
フィンが破損するおそれがあります。
- ◇本製品の適合体重以外の方は使用しないでください。
- ◇本製品は一人用です。複数的人数では使用しないでください。
- ◇鋭利な岩などに当たると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ◇空気が少ないと本製品が適切に膨らまないだけでなく、剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。
- ◇炎天下に放置する場合は 10psi 程度まで空気を抜いてください。
- ◇適正圧力以上に空気を入れないでください。
加圧状態となり破損するおそれがあります。
- ◇陸上では直射日光や火などの熱に近づけないでください。
加圧状態となり破損するおそれがあります。
- ◇陸上で使用しない時は、少し空気を抜くか日影においてください。
- ◇ナイフや岩など鋭利なものや、4 0℃ 以上の熱に接触させないでください。
- ◇コンクリートまたは固い地面に丸めた状態で立てると、レール部分が破損する恐れがありますので絶対におやめください。
- ◇正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。

生地の修理方法

※付属のリペアキット以外の修理用品はお客様でご用意してください。

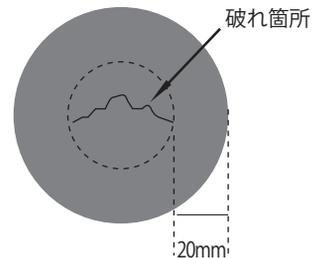
小さな破れの場合

- ①修理をしようとする箇所の土、ゴミ、油等の汚れを良く落としてください。
- ②修理をしようとする箇所の接着面をサンドペーパーで研磨して粗くします。
(研磨する大きさは③のリペアシートの大きさに合わせてください。)
その後、もう一度汚れを落とします。
- ③本製品の穴、破れの大きさに合わせて付属のリペアシートをカットします。
大きさは穴、破れに対して +20mm 程度を目安にします。(下図参照)
- ④リペアシートの接着面をサンドペーパーで研磨し、粗くします。
その後、リペアシートの接着面も汚れを落としてください。
- ⑤リペアシートの大きさより 5mm 程度大きく本製品をマスキングテープで囲います。
- ⑥接着剤を本製品とリペアシートに均一に塗布し、それぞれを圧着します。
圧着し終えてからマスキングテープをはがします。

ピンホール(針穴)の場合

目視できるような破れがないにも関わらず、穏やかに空気が抜ける場合はごく小さなピンホール(針穴)が開いている可能性があります。
(針穴が開いていなくても温度変化により本製品の空気が収縮する場合があります)

- ①空気を入れ、空気の漏れる音が出ていないかチェックしてください。
- ②穴が目視できない場合は、石鹼水をスプレーするか、石鹼水を含んだスポンジで本体を拭き、気泡が出ている場所を特定します。
- ③穴を発見できたら、石鹼水を完全に
取り除き、上記「小さな破れの場合」と
同じ要領で修理します。



お手入れ方法

ボード

- ◇本製品の汚れは、柔らかいスポンジやブラシ等で水洗いします。
- ◇スチールたわし等は本製品に傷がつきますので使用しないでください。
- ◇洗浄後は十分に乾燥させてから収納してください。
乾燥が不十分ですとカビが発生する場合がございます。

パドル

- ◇ご使用後はパドルを分割し、
汚れをよく落とし真水で洗って乾燥させてください。
- ◇とくに海での使用後はパドルを十分に洗い、
塩分を取り除いてください。

保管方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- ◇完全に本製品を膨らませた状態で長期間保管しないでください。
- ◇安全に保管するには、10psi 程度まで空気を抜いてください。

アフターサービス

お買い求めいただきました本製品万全を期して製造しておりますが、万一不備などの点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証外になりますのでご注意ください。

- ◇本製品の誤った使用方法によるもの
- ◇間違ったお手入れ、保管方法に、経年劣化による素材劣化
- ◇乱暴な取り扱いによるもの
- ◇その他、税上場の欠陥以外の原因によるもの

ELIMA (エリマ) 〒251-0046 神奈川県藤沢市辻堂西海岸 3-1-1-1F
担当：上坂 tel：0466-47-8414 mail：info@elima-tokyo.com
ホームページ：www.elima-tokyo.com